

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

創刊：1999年12月

発行日：毎月15日・月末

取材・編集・発行：橋本啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門 定期レポート

Vol. 12 No.15 2010年8月15日号

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2010 CNA Report Japan. All rights reserved.

製品・サービス動向-国内

日立製作所、中小規模システム向けのビデオ会議サーバを発売

株式会社日立製作所(東京都千代田区)は、同社のビジュアルコミュニケーションシステム「NetCS-HD」の製品ラインナップに、中小規模システム向けビデオ会議サーバ「ビデオサーバS」を追加、8月2日から販売開始。(7月20日)



中小規模システム向けビデオ会議サーバ「ビデオサーバS」

ビデオサーバS(日立製作所 資料)

ビデオサーバSは、パソコンやテレビなどのビデオ会議端末へ映像の配信や、ビデオ会議端末などのネットワーク管理を行う、HD画質対応のビデオ会議サーバ。

ビデオサーバSのポートライセンス(最大同時接続数)については6拠点、シートライセンス(最大端末登録数)については、20端末を標準構成として提供。またライセンスの追加によって、ポートライセンスを20拠点、またシートライセンスを50端末まで提供する。

従来モデル「小規模ビデオサーバ」と比べ、筐体体積を約80%、質量を約50%、そして消費電力を約15%削減し、小型化、軽量化、省電力化を実現しているほか、製品価格について80万円を下回る設定としている。初期導入コストを抑えた小規模からの容易なシステム導入が可能になったという。

さらに、USBカメラやマイクスピーカを準備するだけで、既存のパソコンをビデオ会議端末として活用することもできる。

その他、サーバのシステム設定がWebブラウザ画面で簡単に実施できる。また、6拠点(20端末)のビデオ会議システム

の構成データが初期設定されているため、簡易な設定作業でシステム構築、ビデオ会議の利用が可能という。

ビデオサーバSの本体には、100BASE-T/1000BASE-TXを搭載。外形寸法は、330(W)x400(D)x90(H)mm。質量は、8kg。最大消費電力は、200W。

ビデオサーバSの価格は、ポートライセンス(6)、シートライセンス(20)を含んだサーバソフトウェアで、70万円～(税抜き)。ただし、ビデオ会議端末、SE費、据付工事費は、別途必要。出荷時期は、2010年8月31日より。今後3年間の販売目標は3,600台。

担当窓口は、情報・通信システム社 通信ネットワーク事業部 企業ネットワーク本部 企画部。(神奈川県横浜市)

ニューロネット、時間貸しWeb会議サービスの提供開始

ニューロネット株式会社(東京都渋谷区)は、「時間貸しWeb会議室 SaaSRoom」の提供を開始したと発表。(7月12日)

SaaSRoomは、同社で既に実績のある「SaaSBoard/Room」をベースにしたサービスで、時間単位でWeb会議室が使える点が特長。中小企業や使用頻度の少ない企業、あるいは教育機関、期間限定プロジェクトなどに最適なサービスと同社では説明する。

SaaSRoomは、会議室1部屋あたり9人まで同時に入ることができ、1時間あたり2,000円でWeb会議が行える。また、SaaSRoomの会員「SR会員」になれば、さらに各種の特典がついて割安で利用できるようになっている。サービスは、サイトにアクセスして申込することですぐに利用できるという。支払いは、クレジットカードでも対応している。

SaaSRoomは、SaaS/ASP型サービスであるため、PCに

Webカメラとマイクがあれば使用可能。パソコンのOSを選ばず、Windowsの他Macでも利用できる。映像、音声、画面共有、Webボード(ホワイトボード)などの機能を提供している。サービスの申込者以外も利用可能で、その場合は、メールで招待することができるので、誰でも会議に参加できる。

SaaSRoomのWebボード上には、文章の他、手描き絵、動画、静止画(写真)、音声、HTML記述、ファイルのアップロードなど、さまざまなデータを同時に記述したり、貼付したりすることが自由に行える。Webボードで作られたデータは、HTML形式で保存し、そのHTMLコンテンツに対して変更したりすることも可能だ。この様な機能は、他社に見られない特長という。

SaaSRoom開始当初は、9人ルームでスタートするが、今後は、18名、36名、50名のルーム提供を予定している。また規模の大きい100名が参加できるホールの提供も予定している。

ネットスイートとブイキューブ、両社サービスを連携、より効果的な販売推進活動を支援するクラウド型サービスを発表

ネットスイート株式会社(東京都港区)と株式会社ブイキューブ(東京都目黒区)は、両社のそれぞれの主力製品を連携させ「NetSuite Connect for V-CUBE」としてサービス提供を開始することを発表した。(7月21日)

NetSuite Connect for V-CUBEは、ネットスイートの「NetSuite」と、ブイキューブの「V-CUBE」を連携させたクラウドの統合型コミュニケーションサービス。

NetSuiteは、財務・会計、ERP、CRM、Eコマース機能などを提供するWebベースのビジネスアプリケーションスイートで、両サービスを連携させることで、V-CUBEによって取得する、オンラインセールス活動、ウェブセミナー、遠隔サポート、セミナーの参加履歴、アンケート情報などのコミュニケーション履歴を、NetSuiteの顧客データベースと統合し一元管理する。

これによって、リード、潜在顧客、既存顧客の活動情報の

見える化を図り、営業からサポートまでのプロセスを構築。ターゲットにあったきめ細かな顧客との関係性を実現するとともに、全体のコストを削減することができる。

NetSuite Connect for V-CUBEは、株式会社アイネットがNetSuiteの開発環境上で開発し、同社が7月21日より販売を開始した。ネットスイートとアイネットは、2008年5月に販売代理店契約を締結。開発からサポートまでソリューション開発を行っている。またアイネットは、NetSuite Connect for V-CUBE並びに、NetSuite、V-CUBEのクラウドサービスをワンストップで提供する。

NetSuite Connect for V-CUBEは、すでに先行導入としてヴィエムネット株式会社(東京都新宿区)のポータルサービスに導入され、クラウド型統合マーケティング環境による活用を開始しているという。

製品・サービス動向-海外

ラドビジョン社、ビデオ会議を制御するiPad向けアプリを発表



SCOPIA Control(スコーピアコントロール、ラドビジョン資料)

ラドビジョン社は、「SCOPIA XT1000」を制御する「Apple iPad」向け最初のアプリ「SCOPIA Control(スコーピアコントロール)」を発表した。(7月20日)

SCOPIA Controlは、直感的にビデオ会議ルームシステムを制御することができるマルチタッチコントロール機能を提供している。事前のトレーニングなしで、ビデオ会議の呼出の開始や会議の進行などの操作をきわめて簡単に

行うことができると同社では説明している。

SCOPIA Control 画面例 (ラドビジョン資料)



SCOPIA Control の主な特長は以下の通り。(1)ワンクリックで会議室カレンダーから会議に参加できる。iPad の直感的なタッチスクリーンインターフェイスを通して、企業のディレクトリーや過去の呼出リストにアクセスして呼び出すことが可能。

(2)企業ディレクトリーにアクセスして、他の参加者の追加を簡単に行える。

(3)マイクの消音、ビデオインプットの選択、近接・遠隔の PTZ カメラの制御と表示の開始など SCOPIA XT1000 の制御が行える。

(4)会議参加者リストから簡単に会議を進行したり、他の参加者のマイクを消音したり、カメラを止めたり、参加者を外したり、あるいは、ビデオレイアウトの変更などを行うことができる。

(5)H.239 データ共有を使ってプレゼンテーションやスプレッドシート、ドキュメントを表示したり、イメージを共有したりすることができる。

同社によると、SCOPIA Control は、9 月に利用可能となる予定。日本支社は、RADVISION Japan 株式会社(東京都台

東区)。

Compunetix 社、音声会議用のスマートフォンアプリを発表

米 Compunetix 社は、音声会議用のスマートフォンアプリ「CONTEX Connections(コンテックス コネクションズ)」を発表した。(7月19日)



ブラックベリースマートフォンでの CONTEX Connections 画面例 (Compunetix 社資料)

CONTEX Connections は、同社の多地点音声会議システム「CONTEX プラットフォーム」に対応しており、リサーチ・イン・モーション(RIM)社の「Blackberry」スマートフォン向けのアプリケーションとして開発されたもの。

CONTEX Connections によって、会議の予約や開始、アクセス履歴など音声会議が簡単に利用できるようになる。また、サービスプロバイダー向けには、CONTEX Connections のインターフェイスをカスタマイズすることも可能という。

音声会議を外出先で行う際のモバイルユーザの利便性を高めると同社では期待している。

同社は、多地点接続装置専門メーカー。主に音声会議に実績があり、最近ビデオ会議向けの多地点接続装置も販売開始した。日本を含め 28 カ国 50 万ポートの販売実績がある。

(次のページへ続く)

シスコシステムズ、相互運用性対応や新製品、また機能のアップグレードを発表

米シスコシステムズ社は、テレプレゼンスシステムに関する相互運用性対応や新製品、また機能のアップグレードを発表した。(6月16日)発表は、Infocomm 2010にて行われた。7月下旬からの販売開始を予定。

発表された内容は以下の通り。

(1)「TANDBERG TelePresence Server(タンバーク テレプレゼンス サーバ)」で、TIP(TelePresence Interoperability Protocol)がサポートされることになった。対応したのは、MSE8000 シャーシのブレード「MSE8710」と、スタンドアロンアプライアンスの「TS7010」。TIP をサポートすることで、シスコのタンバーク製品、およびさまざまなベンダー間でマルチスクリーンのテレプレゼンスシステムにおいて相互接続が確保されることになる。

(2)MSE8710 TelePresence Server ブレードと「MSE8510」Media2 ブレード向けの新しいソフトウェアリリースによって、多地点会議の容量が3倍に増えた。画面分割を伴う“マルチスクリーンテレプレゼンスコール”では、最大48スクリーン(MSE8710)まで対応し、また、画面分割を伴う“シングルスクリーンマルチポイントコール”では、最大60スクリーン(MSE8510)にまで対応する。

(3)中小企業向けの、導入とライセンスを簡素化した低価格な新しいソリューション「Cisco TelePresence Commercial Express(シスコ テレプレゼンス コマーシャル エクスプレス)」。仮想化システムの「VMware(ヴイエムウェア)」を使うことで、「Cisco TelePresence Manager(シスコ テレプレゼンス マネージャ)」、「Cisco TelePresence Multipoint Switch(シスコ テレプレゼンス マルチポイント スイッチ)」、「Cisco TelePresence Recording Server(シスコ テレプレゼンス レコーディング サーバ)」の3つのインフラストラクチャーコンポーネントをCisco TelePresence Commercial Express サーバとして1つのサーバに統合されている。

(4)新たにMac用「Movi」の追加とMovi機能の強化。Moviの最新のソフトウェアは、今までのWindows対応に加えMac

にも対応した。それにあわせて新たな機能としては、カメラのリモート制御「Far End Camera Control(FECC)」、パケット損失の影響を最小限に抑える「ClearPath(クリアパス)」、マルチパーティ テレプレゼンス コールが可能な「Multiway Movi(マルチウェイ モビ)」、ファイアーウォール越えを可能にする「ICE プロトコル(Interactive Connectivity Establishment)」のサポート、などがある。また、ClearPathについては、まずMacおよびWindows用Moviで提供され、その後幅広いシスコテレプレゼンス製品に実装される予定。

(5)シスコの「TANDBERG C シリーズ プロファイル」に、「inTouch(インタッチ)」インターフェイスを統合。「TANDBERG T3」、「TANDBERG T1 Cisco TelePresence」に採用されているタッチスクリーン技術に基づくタッチスクリーンユーザインターフェイス。ビデオコールの発信、コンテンツの共有などが指操作で簡単に行える。inTouchは、「TANDBERG EX90」でも利用可能。

ビジネス動向-海外

Logitech 社、ファイアーウォール& NAT トラバーサル of Paradiel AS 社を買収

スイスの Logitech International 社は、ノルウェーの Paradiel AS 社の買収を発表した。買収金額は非公開。(7月7日)

Paradiel 社は、ビデオ会議システム向けにファイアーウォール& NAT トラバーサルソリューションを提供する会社。今まで Logitech 社のライフサイズビデオ会議システム向けに OEM 供給してきた。

今回の買収によって、ライフサイズのビデオ会議製品への統合を深め、従来よりも、よりシームレスでセキュアなエンドツーエンドの HD ビデオ会議ソリューションを提供していく考えだ。

Paradiel 社の創立者を含めたほとんどの従業員は、Logitech 社のライフサイズ事業部門に入社することになる。Logitech 社の日本法人は、マウス、キーボードなど PC 周

辺機器を販売する株式会社ロジクール(東京都新宿区)。Logitech社は、2009年12月にライフサイズ社を買収した。

台湾の TrendChip Technologies 社、ラドビジョン社の VoIP 用クライアント技術を採用

ラドビジョン社は、台湾の TrendChip Technologies 社が、ラドビジョン社の VoIP 用クライアント技術を採用したと発表。(7月13日)

TrendChip Technologies 社は、2001年に設立。ブロードバンドアクセス用のチップセットの開発に特化した企業。同社が開発するインターネットアクセス用の装置(Integrated Access Device、IAD)やアナログ回線を IP 回線へ変換するアダプタ(Analog Access Adaptor)の VoIP のコール制御機能の開発において、ラドビジョン社の MTF(Multimedia Terminal Framework)を採用する。

今回の発表に先立ち、6月1日に TrendChip Technologies 社から「TC3182P2V」と「TC3182LEV」の2つの製品が発表されている。

TrendChip Technologies 社では、ラドビジョン社の技術を採用することで、製品の市場への提供までの開発期間の短縮が図れるとともに、顧客に対して製品を訴求する上で信頼性(credibility)をより高めることができると期待している。

ヒューレット・パッカード社と Vidyo 社、ビジュアルコラボレーションで協業

米ヒューレット・パッカード社(HP)と、米 Vidyo 社は、HP 社の「HP Halo」テレプレゼンスソリューションへ Vidyo 社の「Vidyo Conferencing」ソリューションを加えることで合意したと発表。(6月9日)

プレスリリースによると、今回の目的は、HP Halo のビジュアルコラボレーションソリューションが提供する端末について、オフィスのデスクトップから、モバイル端末、そして会議室向けまでフルにカバーすることにある。Vidyo 社のソフトウェアベースのデスクトップソリューションと、ルームシステムベースのソリューションは、HP サーバで稼働し、HP のテレプレゼン

スシステムである「Halo Studio」との接続だけでなく、従来のビデオ会議システムとの接続も可能とする。

これによって、ユーザによるビデオ会議の活用の効果が増すと HP 社は説明する。また高品質なビデオ会議を提供しつつも、導入から維持管理までのトータルなコスト(TCO)を下げる事ができるメリットを提供できるようになるという。

今回発表された新しい HP Halo ソリューションには、HP 社の「HP TouchSmart PC」も含まれる。また今年の後半より共同でマーケティング活動を展開する予定。

HP 社とアバイア社、企業向けユニファイド・コミュニケーション分野において協業

ヒューレット・パッカード社(HP)とアバイア社は、企業向けユニファイド・コミュニケーション分野において協業すると発表した。(6月30日)

両社は、3年間に渡る戦略的提携の一環として、HP の企業向けユニファイド・コミュニケーション&コラボレーション(UC&C)サービスポートフォリオに、アバイアのユニファイド・コミュニケーションおよびコンタクトセンターの機能を追加する。つまり、HP は、「Avaya Aura Unified Communications」のアーキテクチャとアプリケーション、アバイアのコンタクトセンター・アプリケーション、エンドユーザ向けのクライアントアプリケーションとエンドポイントを、HP UC&C ライフサイクルサービスの一環として提供する。

両社が提供するユニファイド・コミュニケーション・ソリューションの内容は以下の通り。

(1)HP の UC&C コンサルティングサービスは、ユニファイド・コミュニケーション導入の計画から、設計、実装、管理、そしてトレーニングを含め、ライフサイクル全体にわたる包括的なサービスとサポートを提供する。また、ユーザの状況に応じて、投資対効果検討、長期ビジョン、現状とのギャップ分析なども支援する。

(2)HP の Avaya Aura 向けマネージド・サービスソリューションの提供。マルチベンダー環境を持つ企業は、自

社のユニファイド・コミュニケーション・アプリケーションとインフラストラクチャーの運営をアウトソーシングすることができる。

(3)ヘルスケア/ライフサイエンスおよび金融サービス業界のユーザには、それぞれの業界ニーズに応じた業界別のソリューションを提供する。

(4)HP Networkingとアバイアは、あらゆる規模の企業向けの統合的な製品とソリューションのテストと認証を実施。「Avaya Aura Communication Manager」は、「HP AllianceOne Program」に基づき、HP Networking 製品との互換性に関する認証を受けている。

HP は、世界各地において、アバイアのパートナープログラム「Avaya Connect(アバイアコネクスト)」のプラチナあるいはゴールドに認定されたチャネルパートナーであり、また、アバイアの IP-PBX と連動するソフトウェア、ハードウェアを開発する企業向けの開発支援プログラム「Avaya DevConnect」のプラチナメンバーでもある。

セミナー・展示会情報

< 国内 >

会議の効率化を実現！『ConforMeeting 無料体験セミナー』定期開催

日程:2010年8月18日(水)、25日(水)

※全ての日程で14:00~15:00、16:00~17:00の2回開催

会場:NEC 情報システムズ 本社(東京都港区)

主催:NEC、NEC 情報システムズ

詳細・申込:

<http://www.nec-nis.co.jp/topics/event/conformeeeting/seminar.html>

『クラウドコンピューティングで劇的経費削減&効率化の方法』実際のクラウド利用方法:ワークスタイル革新で劇的経費削減と推進力増強

日時:8月20日(金) 13:30~17:00(開場:13:00)

会場:渋谷区商工会館 2Fセミナー室

主催:ニューロネット株式会社

共催:さいたまソリューションズ株式会社、ライド株式会社

詳細・申込:<http://www.neuronet.co.jp/seminar/s100820.html>

テレビ会議導入実践セミナー

日時:8月27日(金)15:00~17:00(受付開始:14:30~)

9月8日(水)15:00~17:00(受付開始:14:30~)

会場:日立ハイテクノロジー関西支店

主催:株式会社日立ハイテクノロジー

詳細・申込:

<http://www.hitachi-hitec.com/jyouhou/hitec-vision/seminar/index.html>

WebEx基礎編 + WebEx for iPadのご紹介
~ iPadでWeb会議参加 + WebExの基本をご紹介 ~

会場:Webセミナー

主催:シスコシステムズ合同会社

コラボレーション ソフトウェア グループ

詳細・申込:

http://www.webex.co.jp/web-seminars/webseminar_082610.html

IDG Cloud Computer World Tokyo 2010
セミナーセッション

クラウド導入の悩みを全て解決!

~今やWeb会議はクラウドの時代に!~

日時:9月1日(水)14:00~14:40

会場:東京国際フォーラム

講演:株式会社ブイキューブ

代表取締役社長 間下 直晃 氏

主催:株式会社IDGインタラクティブ

詳細・申込:

<http://www.nice2meet.us/ja/news/index2.php?id=428>

*IDG Cloud Computer World Tokyo 2010 サイト

<http://ccw.idg.co.jp/2010/>

< 海外 >

VCI-Group

First Annual Conference - Light the way

日時:10月3日-6日

会場:米国フロリダ州、フォート ローダーデール

主催:VCI-Group(ユーザグループ)

詳細・申込:<http://www.vci-group.org/events/agenda.aspx>

*テレビ会議ユーザ団体によるカンファレンス。

The Business Communications Strategies Summit

日時:10月4日-5日

会場:米国ワシントン D.C.

主催:UBM TechWeb

詳細・申込:<http://www.enterpriseconnect.com/summit/>

*招待参加者のみの有料カンファレンス。ただし参加希望の場合はサイトから申込を行う。

編集後記

今回もお読み頂きまして有り難うございました。

次回もよろしくお願ひ致します。

(橋本啓介)